



ロータリーは機会の扉を開く

(国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク)
2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーは機会の扉を開く」
(第2660地区ガバナー 簡 仁一)

WEEKLY BULLETIN
**OSAKA
NAMBA**
大阪難波ロータリークラブ週報

12月 会員誕生日 おめでとうございます

- 12月 4日 池畑邦央会員
- 12月 5日 森田 納会員
- 12月18日 井上満昭会員
- 12月23日 中川静夫会員

医療物資支援プロジェクト:医療用マスク寄贈(大阪赤十字病院)

11月25日(水) 社会奉仕事業として、大阪赤十字病院へ医療用マスクN95/KN95 1000枚寄贈させていただきましたので、ご報告をさせていただきます。

福田幹事、網干会員、米澤3名で訪問させていただきました。赤十字病院の院長が直接お会いくださり福田幹事が感謝状を頂戴し、記念撮影をさせていただきました。

N95/KN95マスクのような貴重なマスクを沢山ありがとうございました。大阪難波ロータリークラブさんには本当に感謝、今回のことは院内報にも載せさせていただきますとのことです。

今回寄贈にあたりまして、福田幹事がN95/KN95マスクをご準備くださりまして、また赤十字病院への寄贈の段取りを職業奉仕網干委員長がかなりご尽力くださりました。

本当にありがとうございました。 文責:米澤 勉



松田禎胤 会員



家族に感謝しています。

二〇二〇年9月に千田会員の推薦で、大阪難波RCに会いました。仕事の関係で数名の会員の方は存しておりましたが、RC自体のことばかりで、世代的にも三半代半ほど、仕事にも慣れなかった時にこのようにお誘いをいただきました。以前、チャンスに挑戦した人は不満を言い、チャンスに挑戦した人は満ち足りた心を手に入れる。と聞いたことがありました。弊社の社長、社長からは「何も心配しないで、社内を教わるところから来て」と背中を押してくれましたので、挑戦しようと思いました。仕事は旅行業ですので、添乗などで家族との時間を作ることがなかなか出来ませんでした。ですが、入会後は友好行事でミカン狩りやクリスマス家族会などに参加する機会が、家族と過ごす時間もとても増えました。妻も会員の奥様方から姉のように接して頂き、二人の息子も新しいお友達ができ、家族共々大阪難波

RCを楽しんでいただいております。家族あつてのロータリークラブという言葉を実感しております。また、クラブをより知るきっかけになったのが、入会3年目に友好委員長に任命していただいたことです。実績約2年しか活動経験がなかった事と創立四十周年の節目の年でもあったので、お引き受けすべきかとも悩ましました。前友好委員長の林会長に相談をしたところ、「実際大変な役職なので、業務に支障が出るなら断ってもいいと思う。た、やりたい気持ちがあるなら断ってもいい。今やってみよう。」と背中を押していただきました。当時の白野会長、川口幹事や推薦者である千田会員の理由の一つです。友好委員長を任せていただいたことで会員の皆様との対話が「増えた」とや企画・立案をすることができるようになりました。

Rotary

Vol. 24 「テーマ 難波ロータリーへの挑戦」

世代を紡ぐ インタビュー

これからの予定

- 12月10日(木) 例会
- 12月12日(土) 地区大会 於: グランキューブ大阪
- 12月13日(日) 大阪難波RACキックオフミーティング
- 12月17日(木) 例会
- 12月24日(木) 例会・クリスマス家族会
- 12月31日(木) 休会
- 1月 7日(木) 新年例会・定例理事会
- 1月14日(木) 例会

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
12月3日(木) テーマ 「私と奉仕活動」 卓話者 赤坂 宏会員	12月10日(木) テーマ 「私とゴルフ」 卓話者 荻原 奨 会員	言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第20回例会 本日のプログラム

- 開 会 (点鐘) 通算第2110回例会
- ・国歌 「君が代」
 - ・ロータリーソング 「奉仕の理想」
 - ・ソングリーダー 本間一成会員
 - ・来客紹介 友好委員

- 会 食
- ・歌とピアノ 木下裕子
 - ・会長報告 川口栄計会長
 - ・幹事報告 福田 忠幹事
 - ・委員会報告 各委員長
 - ・出席報告 出席委員
 - ・ニコニコ箱報告 SAA
 - ・卓話

閉 会 (点鐘)

♪ 奉仕の理想
奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永遠に栄えよ 我等のロータリー
ロータリー

ニコニコ箱報告

前回の合計	¥ 40,000
本日までの累計	¥ 1,409,500 (84%達成)
11月末の予算額	¥ 1,660,000

出席報告

	前回 11月26日	3週前 11月5日
会 員 総 数	58名	
出 席 会 員 数	34名	出席免除を除く MUを含む
出 席 率	66%	修正出席率69.23%

大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30
創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間
会長:川口栄計 幹事:福田 忠 会報・雑誌委員長:三島敏宏 事務局:安部亜希子
事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階
TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

12月は「疾病予防と治療月間」です

前回の記録 第19回例会 11月26日(木)

★来客紹介：池畑友好委員

ゲストスピーカー 古川秋恵様
あすかRC 堤 誠治様
中川博之会員のゲスト 日高雅哉様
坂本正樹様



古川秋恵様 堤 誠治様 日高雅哉様 坂本正樹様

★会長報告：川口会長

- こんにちは。本日の会長報告を行います。
まず、本日の社会奉仕事業卓話にお越し頂いた古川秋恵様、あすかロータリークラブより私のゲストで参られました堤誠二様、中川博之会員のゲストの日高雅哉様、同じく坂本正樹様、ようこそお越しいただきました。時間の許す限りゆっくりとお過ごしください。
- コロナ感染が大阪においても拡大し、強い懸念を抱いております。先週に地区のZOOMによる月例会長会議に参加しましたが、12月に入り、休会をされるクラブも多数散見されます。南ロータリークラブでも、クリスマス家族会は中止となり、12月第1週目以降の例会は中止となったそうです。私ども大阪難波ロータリークラブにおきましても、状況を見ながら即時の判断が求められる環境にあります。時短営業自粛期間の感染者数の推移を鑑みながら、1週間ごとの判断になると思えます。尚、府に緊急事態が宣言された際は、間違いなく休会になりますが、状況いかなでは、それを待つことなく休会をすることも考えております。どうぞ幹事からの緊急の連絡には注視していただきたいと思えます。
- 本日の「ロータリアンの足跡」は京都ロータリークラブの15代目千宗室であります。経歴は下記にざっと記しておりますが、日本JCの会頭の経験もなさっております。現在は家元を長男に譲り、玄室と改名されておられます。写真にもありますように、何ともまあ男前の御仁であります。さぞかし京都ではよくおもてになるのでしょう。(笑)巻末に触れておりますが、俳優の西村晃とは特攻隊の同期の桜だそうです。手持ちの道具と配給の羊羹で隊員と茶会を行い見送ったエピソードは、多くの講演で語られております。戦後、特攻隊として生き残ったのは舞鶴海兵団では2人だけだったそうですが、お互いに亡くなったものと思いきや、再会を果たします。1997年に俳優西村晃が死去したさいには、生前の約束通り、15代目千宗室が葬儀委員長を務められたそうです。本日の会長報告は以上です。

★幹事報告：福田幹事

- 来週12月3日、例会終了後年次総会を開催させて頂きまますので、少しお残り下さい。その後、定例理事会を行いますので、理事役員の方はご出席下さい。

- 新型コロナウイルス感染者が当クラブ例会で出た場合、同テーブルの者が濃厚接触者となりPCR検査を受けることとなります。

★委員会報告

◇社会奉仕委員会：米澤委員長

11月25日大阪赤十字病院へ医療用マスク1000枚を寄贈に行っておりましたのでご報告申し上げます。

★ニコニコ箱報告：森田副SAA

川口栄計：大阪赤十字病院へのマスク寄贈式、米澤社会奉仕委員長、綱干会員、福田幹事、お疲れ様でした。

福田 忠：本日は、障がい者の方の就労支援を行っておられる「シュクレサレ」より古川秋恵様がお越しです。先月の授産品バザーでは大変お世話になりました。本日は卓話宜しくお願い致します。

大地庸元：入会記念日、自祝。

千田忠司：鉄崎さん、大変お世話になりました。感謝。

荻原 奨：鉄崎さん、先日は大変お世話になり有難うございました。

白野陽一：入会が減ってきましたが、ロータリーは元気を出していきましょう。

森田 納：入会記念日、自祝。

上杉竜太郎：入会記念日、自祝。

★卓話 テーマ 「障害者の就労支援と私 ～共に世界を広げたい～」

卓話者 古川 秋恵様

卓話担当者 米澤 勉会員

障がい者就労支援事業所で支援員をしております。古川秋恵と申します。私は二児の母で、息子がサッカーを始めたことをきっかけに、サッカー観戦にハマっています。趣味は、美容や化粧品を集めることですが、美容はよくサボります。道頓堀リバーフェスティバルでは、難波ロータリークラブ様のご厚意でブースをお貸し頂き障がい者福祉施設で作った商品を販売させていただきました。今年は、コロナウイルス流行の影響でイベントが次々に中止になり、販売の機会が激減していたので、ブースをお貸し頂いたことを本当にうれしく思っております。私は、2日目にコーヒーを販売させていただいていたのですが、当日は、難波ロータリークラブの皆様には大変お世話になり、川口会長をはじめ沢山の方々ブースに足を運んでくださりました。ブースだけでなく、パネルまでご用意していただき、かわいいモデルさんにもご紹介いただきありがとうございます。

成果といたしましては、2日間で99,600円の売り上げがありました。イベントが次々と中止になっている中、販売の機会を頂き本当にありがとうございました。私の所属する株式会社シュクレサレでは、就労継続支援という障害者支援事業を行っております。就労継続支援とは、障害者総合支援法に基づく福祉サービスのひとつで、企業などで働くことが困難な場合に、障害や体調に合わせて自分のペースで働く準備をしたり、就労訓練や仕事を行うことができます。就労の機会を提供し、仕事やその他の活動を通し、その知識および能力の向上を目

指します。就労支援には2種類あり、《就労継続支援A型》雇用契約を結ぶのでお給料が発生します。《就労継続支援B型》雇用契約を結ばないため、賃金ではなく事業所での生産活動の売り上げを分配し工賃として支払います。

平成30年度の大阪府の月額平均12,009円 時間給の平均180円です。

現在シュクレサレでは、喫茶店・雑貨店をはじめ、様々な業務を行っております。その業務についてご紹介させていただきます。

・ハンドメイド商品作成 ・店舗での販売 ・美容室・カフェ・雑貨店などでの委託販売 ・イベント出店(イオンモール・近商ストア・スカイビル・犬イベント・インテックス大阪で開催されるバリアフリー展など)大丸梅田店様のマスクマルシェ2020で販売 ・洋服のタグの付け替え ・商品の検品 ・縫製 ・アート活動(ギャラリー開催・企業のカレンダーに選出)などがあり、他にも、・企業とのコラボ 阪神調剤薬局さんのイベントスペースでワークショップ ・物販 インフルエンサーが集まるイベント【グラマーフェス】にて、サンフラワー楽天市場店様のブースでハンドメイド商品販売 企業のマスコットキャラクターのエコたわしを作成・ノベルティ作成 大阪ガス・銀行・保険事務所・コンタクト店などがあります。

何故この仕事に就いたかという、叔母と母が立ち上げたことがきっかけです。当時、長男が1歳で専業主婦だったので『喫茶店するのに物件契約したから、保育園一緒に探すし4月から一緒にやろう!』といった感じだったと思います。そして、無事に?保育園も決まり2013年5月より開始しました。その頃は、就労継続支援事業の存在も知りませんでした。ただ、叔母といとこが障害を持っているため障害は身近ではあったが、関りは薄く接し方もわからなかった為、今まで当たり前だと思っていた事が当たり前ではないという毎日に戸惑いました。というのも、障害者支援において『当たり前でないことが当たり前』『普通でないことが普通』であったからです。まずは、自分の中の当たり前を崩さないといけなく、当時の私には(今でもです)厳しく感じるころでした。そんなところから、私の支援員としてのスタートでした。

そして、初めは喫茶店の業務のみだったのが、今の雑貨販売につながったのは、身体障害を持つ利用者さんが足の痛みで喫茶業務ができなくなったのをきっかけに、テレワークを利用することになり、何が出来るかを考えた結果、赤ちゃんのスタイを作成して販売を開始しました。私は、どちらかという裁縫が苦手な生地の種類もわからない、その時完成したのはペラペラでよだれかけの機能を発揮できないような物でした。縫製スタッフもいない状態で、一緒に試行錯誤しながら頑張ってきました。今では、いろいろなイベントに出店したり、百貨店の販売に声をかけていただけるほどになり、本当にうれしい限りです。その後、就労継続支援B型のChouchouの立ち上げにも携わり、現在は就労継続支援B型ボンセジュールに所属しています。「明るくおしゃべりな場所で働きたい!かわいいものを作りたい!引きこもりだった生活を抜け出したい!居場所が欲しい!社会との繋がりが欲しい!自分で働き自立を目指したい!」など様々な障害者の方々の思いをかなえるために、今も勉強の日々なのですが、やはり、事業所内や福祉のネットワークの中だけで活動するのではなく社会との繋がりが大切だと感じ、企業とのマッチング会や地域のイベント・その他イベントにも積極的に参加しています。そんなこんなで、私の中でもいろいろな経験が自信にも繋がっていました。しかし、『当たり前でないことが当たり前』『普通でないことが普通』な障害者支援ですので、トラブルや困りごと・悩みが本当に尽きません。(どのお仕事もそうだと思います)実は、今年の8月に今の事業所に異動になり、うまくいかず中々前に進めない状況に心が折れかけていました。

一歩ずつ前に進む、3歩進んで2歩下がるという言葉がありますが、障害者支援では10歩進んで10歩下がる。ひどいときはスタート地点よりさらに良くない状態に。ということが起きています。仕事の機会を提供しているのですが、通所しても作業できず1日が過ぎてしまう方。感情をコントロールできず爆発してしまう方。人それぞれですが、対応に追われて1日が過ぎてしまうことも珍しくはありません。障害を持つ方は、精神面でも体調面でも非常に不安定な方が多く、環境の変化やいろいろなことが引き金となり、不安定な状態になってしまいます。普段、悩んでもすぐに切り替えられる私ですが、日々起こる問題に自信を無くしていました。

そのタイミングで、道頓堀リバーフェスティバルに参加させていただき、難波ロータリークラブさんに出会い障害者の就労支援に興味を持っていただき、応援して下さい、米澤さんには今日のように皆様の前でお話しさせていただく機会までいただき、お忙しいなかお時間を作っていただきました。私自身、改めて自身の仕事を振りかえるきっかけにもなり、頑張りたい!という気持ちを持つことができました。そして、セレッソ大阪さんと一緒に仕事をされてる中川さんに、セレッソ大阪さんをご紹介いただき、試合開催日に会場で商品を販売をさせていただけるようにお話もしていただき、12月12日に販売させていただける予定になりました。私自身、セレッソさんのファンで試合も見に行っていたのでとてもうれしく、何よりお忙しい中セレッソさんとお話ししてくださったのが嬉しく、大変なことたくさんあるけど、応援してくださいの方がいることが心の支えになります!

そんな感じで日々変化やトラブルの多い支援現場ですが、課題も山積みです。その中でも大きな課題は、工賃が低いという問題です。就労継続支援B型では、作業内容や通所状況により変わりますが、平成30年度の大阪府平均で月額12,009円 時間給にすると平均180円という自立して生活するには到底厳しい数字になっています。原因はたくさんあると思えますが、福祉の事業所だと低価格で仕事を請け負ってくれるというイメージや、複雑な作業をこなすのが困難で簡単な軽作業になってしまうこと、ビジネスや販売の経験や知識がないために販売の方法がわからなかったり、販路がないことが難しいなど、本当にたくさん問題を抱えています。障害者の自立を願い、支援していますが、工賃がなかなか上げられないことに私自身も本当にもどかしさや力不足なことを痛感しています。そして、社会との繋がりを作るのも私たち支援員の役目だと思っているので、販売や作品を通し、社会との繋がりを感ぜられるような活動をこれからも行っていきたいと思っています。最後になりましたが、今回、『障害者の就労支援と私～共に世界を広げたい～』という題名を付けさせていただきました。

障害者支援員としてまだまだ未熟で、今回は私が働き、感じてきたことなどをお話しさせていただこうと思えました。～共に世界を広げたい～というのは、人それぞれ【世界】で思い浮かぶものの規模は違うと思えます。海外へ行き、世界が広がったと感じる人もいれば、引きこもっていた方が外に一歩出るのも世界が広がる行動です。それぞれ、今見えている世界は違うけれど、障害者の就労支援を通して少しでも世界が広がるような支援を目指し、行っていきたいと思っております。あまりこういう場に慣れておらず、聞きづらいつころもあつたと思えますが、最後まで聞いてくださりありがとうございました。

